

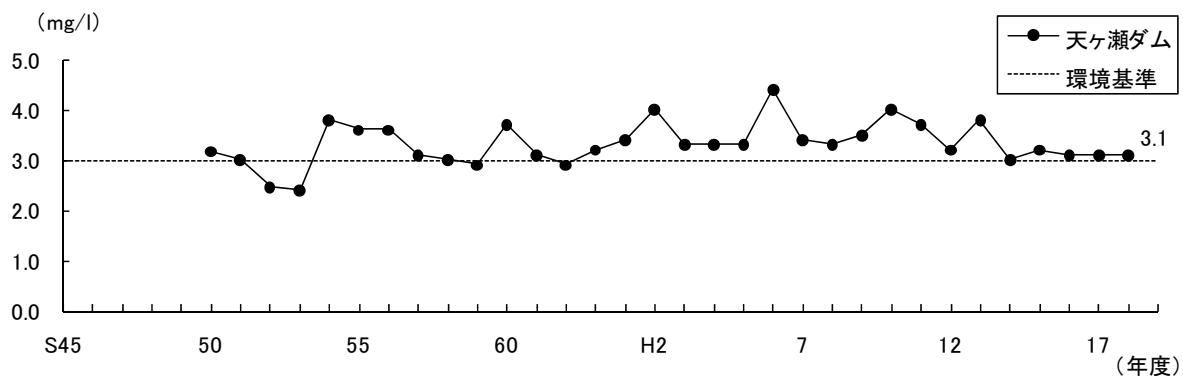
(2) 天ヶ瀬ダム

天ヶ瀬ダムは、琵琶湖の水質の影響を受ける地点である。

COD（75%値）は昭和54年度ごろから高くなり、その後はおおよそ3.0～4.0mg/lで推移している。平成18年度は3.1mg/lと環境基準を上回った。

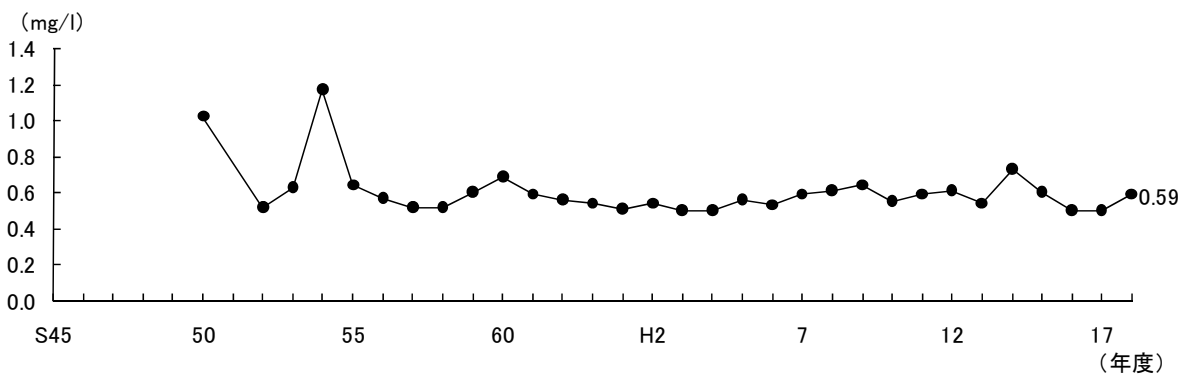
全窒素（年平均値）は昭和50年度に1.02mg/l、昭和54年度に1.17mg/lと1mg/lを超えたが、その後は横ばいで推移している。平成18年度は0.59mg/lであった。

全りん（年平均値）は昭和52年度に0.116mg/lと高い値を示したが、昭和53年度以降横ばいで推移しており、平成18年度は0.022mg/lであった。



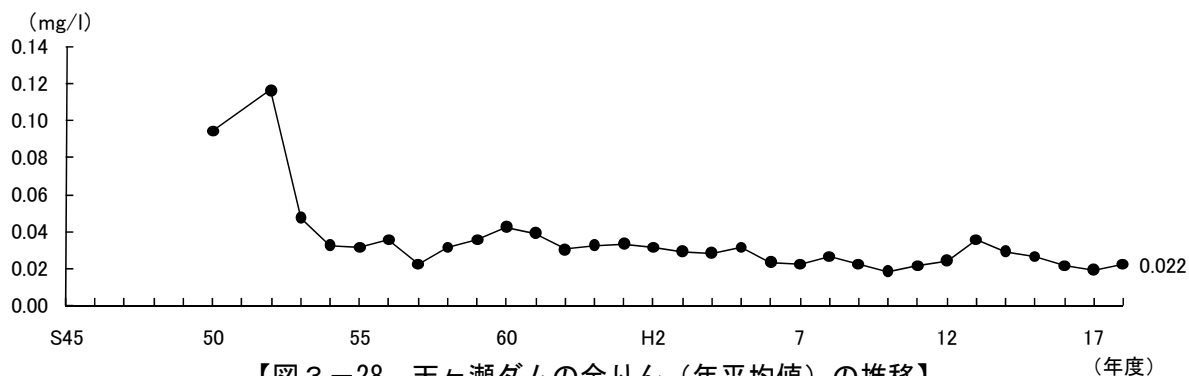
【図3-26 天ヶ瀬ダムのCOD（75%値）の推移】

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ 詳細は資料3-7を参照



【図3-27 天ヶ瀬ダムの全窒素（年平均値）の推移】

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ 詳細は資料3-8を参照



【図3-28 天ヶ瀬ダムの全りん（年平均値）の推移】

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ 詳細は資料3-9を参照